

## 事業名 南八王子土地区画整理事業における「みなみ野自然塾」活動

里山環境の維持・再生と里山生活の文化・習慣の継承を通して、新旧住民間の交流、コミュニティ形成をすすめるソフト型まちづくりの提案

受賞機関 都市基盤整備公団東京支社  
東京西部都市整備事務所

事業実施期間 平成12年3月29日～平成13年3月23日  
事業費 9百万円

### 事業等の特徴

ハード整備だけの土地区画整理事業ではなく、地域の里山の自然に親しむ機会を通して新旧住民一緒になった地域のコミュニティづくりを目指し、みなみ野自然塾を企画した。

活動では従前の住居者が講師となり地域固有の習慣や伝統文化を伝えるなど、自然だけでなく人的資源をも引き出しながらコミュニティづくりに取り組んでおり、参加者も増加傾向にある。

### 事業の概要と利用者等の評価

#### 1. 概要

本事業は、東京・多摩地域、八王子市の中心市街地の南側に位置する面積394ha、計画人口28,000人の大規模ニュータウン事業である。

通称「八王子みなみ野シティ」という愛称を冠したこの街では、地域の自然や固有の風土を街の中に生かすことにより、高度な都市性とリゾート性をともに享受することのできる街「アーバンビレッジ」を基本コンセプトとしたまちづくりを進めている。

#### 2. 「みなみ野自然塾」活動実施の背景

「アーバンビレッジ」を基本コンセプトとしたまちづくりは具体的には、

クラブライフ交流都市（コミュニティ活動の活性化）



稲作・里山コース1



自然観察コース1

### 環境共生都市

を大きなテーマとして設定した。

地域固有の環境資源を継承する公園・緑地を主な活動のフィールドとして、

従来からの居住者から新しい居住者へ里山生活の文化・習慣を継承することで新旧住民間のコミュニティ形成を推進する。

併せて、広大な公園・緑地に対する住民の親近感を向上させ、その維持・管理への積極的関与を図る。

ことを目的に、平成9年度、「みなみ野自然塾」活動を開始し、現在約160人が参加して、地域に定着した活動となっている。

活動を始めて4年目の現在は、各コースにおいて、積極的に活動に参加するコア・メンバーも出てきており、活動が事業者主導型から塾生主導型（居住者主導型）へと移行しつつある。

また、この活動を介して、従来からの居住者と新しい居住者が出会い、交流を深め、さらに、地域に根ざした里山生活・文化を伝承することができ、当初の目的に沿った新旧住民のコミュニティ形成を図ることができている。

この活動を通じて、まちづくりにおいて、ハード面のみならず、コミュニティ形成支援等ソフト面に視点をいた取り組みの必要性、重要性を改めて認識することができた。

#### 審査委員会委員の意見等

- ・自然塾を通してのコミュニティ活性化への取り組みがみられる。
- ・ニュータウン周辺の旧住民と新住民の交流に寄与している。
- ・ウォーキングツアーが人気を集めており、ハードとソフト（例えばマナー向上等）の維持管理の促進を期待したい。
- ・在来住民と新住民との交流、特に人的資源の掘り起こしを評価する。